

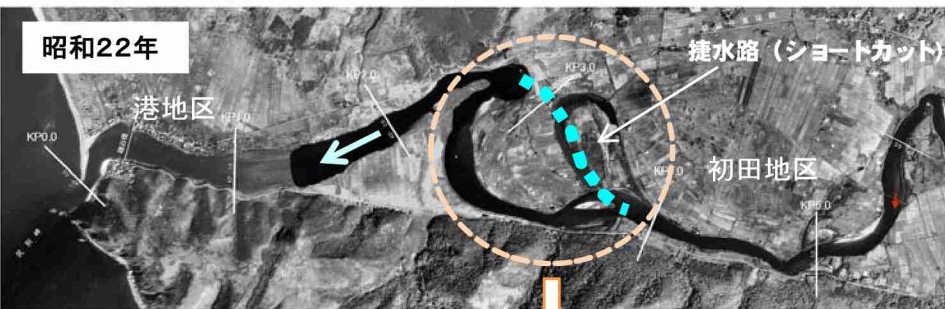
尻別川新聞

第19号

小樽開発建設部 倶知安開発事務所
平成25年10月31日

尻別川の移り変わり

尻別川の下流部は谷底平野を悠々と蛇行(だこう)しながら流れています。
昭和31年には、尻別川の洪水被害が相次いだことから地域住民の治水への要望が高まり、これをうけて築堤工事を始めました。曲がりくねった川は洪水が流れにくいいため、昭和34年から昭和42年にかけて蛇行が著しかった尻別川の3箇所で洪水をスムーズに流すための捷水路(しょうすいろ)工事[ショートカット]が行われ、現在の尻別川に近い流れとなりました。その後も浚渫(しゅんせつ)や掘削工事で川幅を広くするなど、安全に洪水を流すための工事が行われています。



KP0.0~KP5.0

KP15.0~KP20.0

防災への心構えや防災グッズ・非常食を体験

～北海愛星学園で防災勉強会～

北海愛星学園の子供たちを対象に10月15日に防災勉強会が行われました。災害ボランティア歴35年の災害救援ネットワーク北海道代表 山口幸雄氏から防災への心構えや防災グッズの使い方について話があり、ユーモアを交えた話に、子供たちは熱心に耳を傾けました。

最後に非常食の試食を行い、災害を想定した貴重な体験となりました。



紙芝居を使いながら
防災への心構えを楽
しく説明する山口氏
→

大洪水を想定した訓練を行いました

～堤防決壊時の緊急対策に関する意見交換会～

尻別川では昭和50年に堤防が決壊しましたが、それ以降堤防の決壊はありません。少なくなった大洪水の経験を補うため、堤防決壊を想定した意見交換会を10月11日に行いました。

意見交換会には事務所職員のほか、災害時の緊急復旧に携わる協定会社、災害対応の経験豊富な河川防災エキスパートが参加し、活発な意見交換が行われました。



水質事故から尻別川を守るために

～水質事故対策訓練を実施しました～

9月26日にニセコ町ルベシベ川で、水質事故対策訓練を行いました。この訓練は流域の7町村で毎年順番に実施しています。

今回は国道5号の橋で交通事故が発生し車両から燃料（油類）が川に流れ出たことを想定し、下流への影響を最小限に食い止める事を目的とした訓練です。

訓練当日はニセコ町役場や町内の建設会社、羊蹄山ろく消防組合などから21名が参加し、流れ出た油を回収するためのオイルフェンスや油を吸着するオイルマットを設置しました。



今年は尻別川の流域で交通事故による油の流出事故が発生しています。参加者は実際の事故を想定し清流尻別川を守るため、皆真剣に取り組みました。

尻別川新聞では河川での取り組みや工事、イベント、地域の情報など様々な話題を取り上げていきます。

ご不明な点やご意見、尻別川に関する話題がありましたら倶知安開発事務所蘭越分庁舎までご連絡ください。

小樽開発建設部倶知安開発事務所蘭越分庁舎

(旧蘭越河川事業所)

0136-57-5331